

# 令和2年度 高千穂町立押方小学校 学校評価書

本年度の学校経営ビジョン 『地域とともにある学校』を基盤とし、学校・家庭・地域社会が一体となり、「チーム押方」として協働し、小規模校の強みを最大限に生かし、児童一人一人の「やさしさ」「かこしさ」「たくましさ」を伸ばす教育活動を展開する。』  
子どもの成長を実現し、信頼される学校をめざす「押方小ならではの教育」

(4段階評価 たいへんよい=4点 おおむねよい=3点 もう少し=2点 改善が必要=1点) 平均 2.5点 ※(4+3+2+1)÷4=2.5

重点指導事項	目指す児童像	方策・手立て	自己評価		結果の考察・分析及び改善策等	学校関係者評価コメント ◇…プラス面 ◆…マイナス面 ☆…思いや願い
			項目別	総合		
1 自他の生命を尊重し、相手を思いやる心と実践力の育成	① 「命」の尊厳を理解し、自他の生命を守る教育の充実	○自他の生命の大切さに気付く子ども	○命についての指導の充実	3.79	3.66	<p>◇年を取り今のいじめ、昔も似たものはあったと思うが現在のいじめは陰湿で、我が身に置き換えての思いが今はないのかなと思うこと多々ある中、当校の思いやり、心配り、嬉しい限りです。期待しています。地域でも頑張ります。</p> <p>◇命の大切さが分かる児童、相手を思いやる心がある児童。押方小の素晴らしいところだと思います。今後とも指導をお願いします。</p> <p>☆コロナで学校行事への参加がなく、評価することが分かりません。したがって今年はコメントはできません。押方小学校の教育は十分発揮されていると評価します。今後も押方地区の子供たちの教育に益々ご尽力ください。</p> <p>☆目指す児童像として、「いじめをしない子ども」に付け加えて、「いじめられている子を助けてあげられる子ども」という考えもいいのかと思います。</p> <p>☆思いやりは人間、一生の問題だと思う。子どものうちに思いやりの心を植え付けることが重要と考えます。</p> <p>☆家庭だと読書する雰囲気はなかなか作れず月1回でもいいので図書室を開放し、家族で読書の日という感じで取り始めると助かります。</p> <p>☆読むことの大切さ、我が家でも宿題の音読はするが、読書(教科書以外)をする習慣が大事に思います。我が家も努力しますが、課題(読書宿題)の提供をお願いします。</p> <p>☆部屋に入れば勉強していると思ってしまうのではなく、見届けも大事。保護者も大変ですね。</p>
	② 互いを認め、相手を思いやる言動の向上、及びいじめの根絶	○元氣なあいさつができ、相手を思いやる言葉遣いや行動ができる子ども	○互いを理解し、よさや頑張りを認め合う学級づくり ○アンケート、教育相談、フラー委員会の実施 ○いじめや差別のない望ましい人間関係の醸成を図る常時指導の充実	3.64		
	③ 豊かな心を育む道徳教育、人権教育、ボランティア活動等の充実	○思いやりの心をもった子ども	○児童の実態や教育活動に合わせた学級活動や特別の教科道徳の充実 ○ボランティア活動の意義への理解 ○朝ボラ、みどボラ活動の継続	3.56		
2 主体的に学び合う力の向上と基礎学力の確実な定着	① 一人一人の児童の学び力を伸ばし、確実に学習内容の定着を図る授業改善の充実	○主体的に学ぶ子ども ○基礎学力が身に付いた子ども	○「わかる、できる」の4つの視点を基にした授業の工夫 ○授業研究会をもとに授業改善	3.47	3.32	<p>●児童・保護者のアンケートでは「学習に対して意欲的に取り組んでいる割合は高いが、理解できているかの問う項目では若干ポイントが下がった。確実に基礎学力が定着するよう指導法の工夫・改善等に努めたい。</p> <p>●保護者、児童双方のアンケート結果から、家で読書に取り組んでいない児童が比較的多いことが分かった。今年度はコロナの関係でできなかったが、読み聞かせ活動など、読書に興味をもたせる工夫を考えていきたい。</p> <p>●保護者のアンケートから、児童の学習の様子をチェックするのを忘れてしまうことがあると回答があった。日々の生活の中ではなかなか大変なようだが、意識はされているようだ。今後も家庭での見届けの重要性を呼びかけていきたい。</p>
	② 図書館教育の充実と「家読」の推進	○読書に励む子ども	○図書通信や家読推進活動の取組による家読の啓発	2.98		
	③ 家庭学習の充実と習慣化	○家庭学習に取り組む子ども	○「8つの光」の資料配付、学級通信や参観日、個人面談等における家庭学習協力への呼びかけ	3.52		
3 体力と健康生活を実践する習慣・能力の向上	① 体力向上プランに基づく計画的・継続的な取組と体力づくり運動の充実	○体力を身に付けた子ども	○体力向上プランを基にした学級全体での取組 ○児童相互の交流を図る、みんなで楽しむ体力づくり	3.74	3.51	<p>●上学年と下学年が一緒になって遊んでいる姿を見ると微笑ましいものがある。体力作り期間には自主的に運動場で持久走に取り組む児童もいて、意識の高まりが見られた。</p> <p>●「早寝・早起き・朝ご飯」ができていると答える児童が多く、ご家庭の協力のおかげだと思われる。しかし、テレビやゲーム等については、時間を守っていると答える児童が多いのに対して、あまり守れていないと答える保護者も多く、意識の差が見られる。過剰なメディア接触に対する学力や健康等の弊害についての情報を家庭に周知し、学校でも児童に喚起していきたい。</p> <p>●今年度も、見守りボランティアの方々に協力をいただきながら、児童は毎日、安全に登校できている。</p>
	② 自己の健康生活に目を向け実践する能力の育成	○自分の健康に目を向け、実践する子ども	○よりよい生活習慣の定着を図る指導の工夫 ○学期1回のすこやか週間取組の充実 ○「すこやかファイル」や保健だより発行、学校保健委員会等を通じた家庭との連携	3.38		
	③ 「1.3kmウォーク」運動の継続	○諏宮神社からしっかりと歩いてくる子ども	○PTAと連携した「1.3kmウォーク」の呼びかけ及び推進	3.41		
4 特別支援教育の充実	① 児童一人一人のニーズに応じた全校的な教育支援体制を確立する。	○児童のニーズに応じた手立てを講じ、全職員による支援体制の整備	○児童のニーズに応じた手立てを講じ、全職員による支援体制の整備	3.42	3.30	<p>◇コロナ等密を避けた取り組みは、集団生活の重要性を理解の場を持つ難しさの中の対応教育に感謝の気持ちです。</p> <p>☆特別支援を受けている児童が何人いるのか分かりませんが、先生方のご支援をよろしく願います。</p> <p>●全職員で見守るという姿勢で、児童一人一人のニーズに応じた支援を行うことができた。</p> <p>●定期的に委員会を開催することで、児童の変容を確認しながら、支援方法を検討した。全職員で共通理解しながら対応を充実することができた。</p> <p>●ことばの教室や町子ども・障がい者ネットワークセンター準備室等と連携を図り、専門的な立場から児童に応じた手立てについて指導・助言をいただき指導に生かすことができた。</p>
	② 校内委員会を定期的に開催し、児童の実態把握や支援方針の検討を行うとともに、その内容を全職員で確実に共通理解し、組織的な対応を充実する。	○学期1回、校内委員会を開催し、全職員による共通理解や支援方針検討の協議	○学期1回、校内委員会を開催し、全職員による共通理解や支援方針検討の協議	3.10		
	③ 教職員の特別支援教育に関する専門性や実践的指導力の向上につながる研修を充実する。	○適宜、特別支援教育に関する研修の開催	○適宜、特別支援教育に関する研修の開催	3.37		
5 家庭や地域とともに歩む信頼される学校づくり	① 地域とつながり、地域を誇りに思う教育活動の充実	○地域に関心をもち関わりをもちながら、「押方」のことが好きな子ども	○地域素材や人材を生かした教育活動への取組	3.85	3.37	<p>◇地域の方々とのつながりはとても素晴らしい。押方小だからこそできることもたくさんあると思います。</p> <p>◇地域素材を生かした教育活動についてはよくやっていると思う。</p> <p>◇地域のことを好きと言ってくれることはうれしいことです。すべての基本になるといいますので、ご指導よろしく願います。</p> <p>◇大変よいと思う。</p> <p>●働き方改革が前面に出てきている感がある。</p> <p>☆当地区には児童がいないため、学校生活等分らないことが多くありますが、学校通信で情報を得ることができています。コロナの影響で学校の各事業にも参加できなくて残念でした。地域としてできるだけ協力をして行ければと思っています。</p> <p>☆今後も情報発信をお願いします。</p> <p>☆子は親の姿を見て育つと同じで家庭の姿がそのまま子供の学校での姿に出ると思う。よく子供は見聞かしている。学校の姿の大切さ。先生は神様の思いは今も昔も同じだと思います。ご協力ください。</p>
	② 家庭や地域への積極的な情報提供と、学校評価を有効活用した学校改善の推進	○学校通信、ホームページ、保健だより、学級通信等の充実 ○学校評価を活用した学校改善	○学校通信、ホームページ、保健だより、学級通信等の充実 ○学校評価を活用した学校改善	3.00		
	③ 高い倫理観・使命感、協働精神をもち、積極的に心身の健康維持に取り組む職場づくり	○風通しのよい職場づくりとコンプライアンス意識の高揚 ○教職員評価の有効活用と現職教育の充実、所外講師の招聘や校外研修への積極的な参加等による資質能力の向上	○風通しのよい職場づくりとコンプライアンス意識の高揚 ○教職員評価の有効活用と現職教育の充実、所外講師の招聘や校外研修への積極的な参加等による資質能力の向上	3.25		